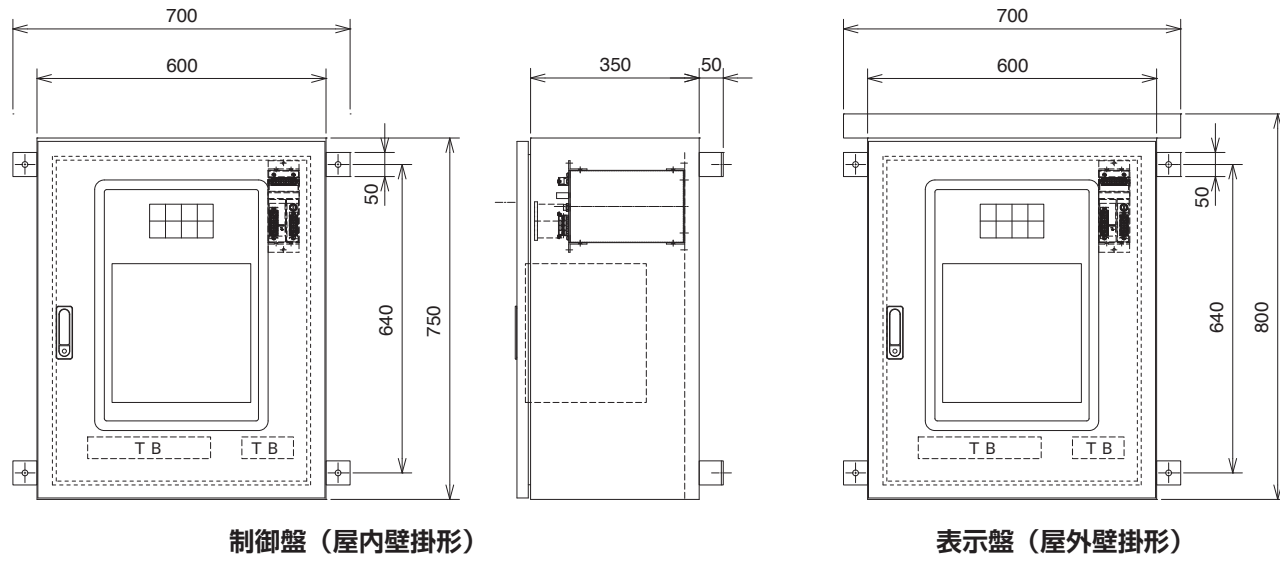


4 外形図

燃料油液位監視装置

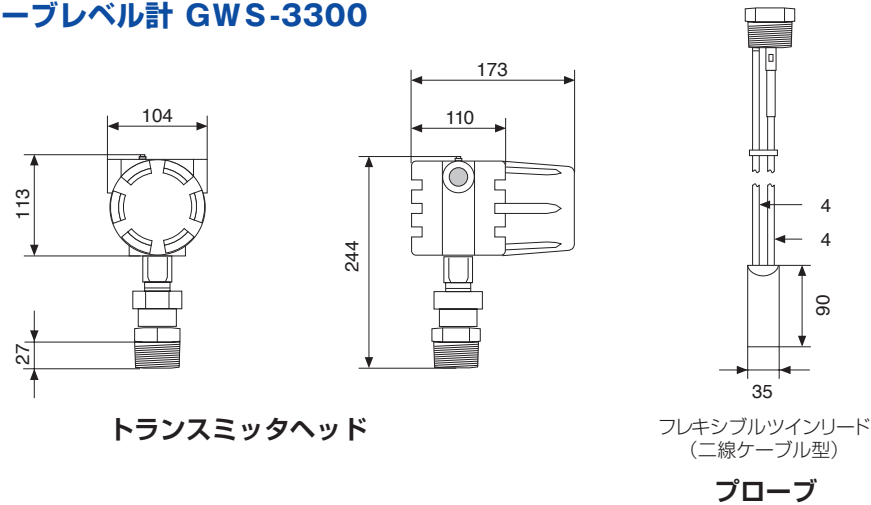
単位 mm



制御盤（屋内壁掛形）

表示盤（屋外壁掛形）

ガイドウェーブレベル計 GWS-3300



トランスミッタヘッド

フレキシブルツインリード
（二線ケーブル型）
プローブ

製品の仕様およびデザインは改良等のため予告なく変更する場合があります。

⚠️ ご注意 ご使用の際は取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

TOKYO KEIKI

東京計器株式会社

計測機器システムカンパニー

www.tokyo-keiki.co.jp/ryutai/

本社・東京営業所 TEL.03-3737-8621 FAX.03-3737-8665 〒144-8551 東京都大田区南蒲田2-16-46

札幌営業所 TEL.011-816-6291 FAX.011-816-6296 〒003-0802 札幌市白石区菊水二条2-2-12 藤井ビル菊水IV
 仙台営業所 TEL.022-295-5910 FAX.022-295-6041 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-12-12 MB小田急ビル
 名古屋営業所 TEL.052-232-8511 FAX.052-232-8510 〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル
 大阪営業所 TEL.06-6150-6602 FAX.06-6150-6610 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-7-26
 広島営業所 TEL.082-249-4661 FAX.082-241-7199 〒730-0041 広島市中区小町3-19 MG広島小町ビル
 北九州営業所 TEL.093-531-6881 FAX.093-521-2575 〒802-0002 北九州市小倉北区京町2-7-8 小倉ビル

地下タンク内燃料油
制御監視システム



TOKYO KEIKI

1 特長

- 見やすい大型タッチパネル付き液晶ディスプレイを搭載し、視認性、操作性に優れています。また、イーサネットを標準装備していますので、ブラウザによる遠隔データ監視、FTPサーバ/クライアント機能、Eメールによる警報通知などのアプリケーションが使用できます。
- タッチペンで液晶ディスプレイに給油時や点検終了時のサインやコメントを書き込むことができ、データと共に保存することが可能です。データは、内部メモリおよびCFカードに収録し、燃料油液位監視装置本体で再生することができ、付属のデータ解析ソフトを使用すればパソコン上でCFカードのデータのグラフ化などを行うことが可能です。
- 警報発生時や機器異常時には、直ちに燃料油液位監視装置前面のアナシエータが点灯すると同時にEメールで自動通報することができます。
- 燃料油の液位測定に用いられる電波レベル計は、本体自体がコンパクトで狭小空間での測定が可能のため、設置スペースの限られた地下タンクへの設置に最適です。また、可動部のないシンプルな機器構成で、高精度なレベル測定を実現しています。



燃料油液位監視装置 表示画面例

ガイドウェーブレベル計
GWS-3300

2 構成

No.	名称	数量	説明
1	燃料油液位監視装置 (制御盤)	1	
2	燃料油液位監視装置 (表示盤)	1	
3	電波レベル計	1	ガイドウェーブ式または非接触式

燃料油液位監視装置は株式会社チノの製品です。

3 仕様

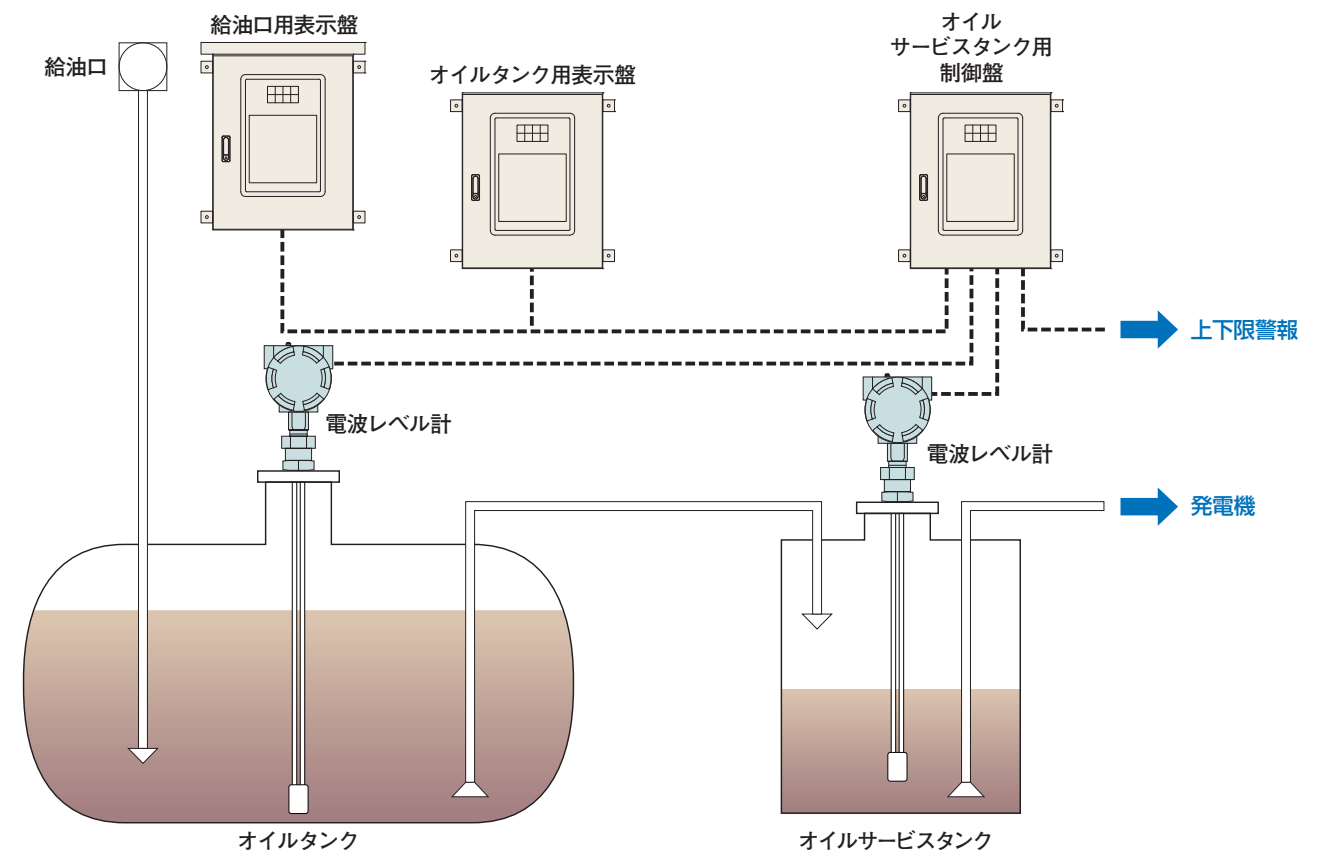
燃料油液位監視装置

表示部	12.1形TFTカラーLCD
表示種類	測定データ表示：トレンド表示、数値表示、バーグラフ表示 ヒストリカルトレンド表示：リアルタイムトレンドとの同時表示可 情報表示：警報表示、マーカ表示、ファイルリスト 設定画面：警報、演算、メモリ、システム、メンテナンス、通信など
メモリ	内部メモリ：フラッシュメモリ 8MB 外部メモリ：CFカード (容量32MB~8GB) 128MB標準付属
警報出力	上限；最大4設定 下限；最大4設定
電源	100VAC 50/60Hz

電波レベル計 (ガイドウェーブレベル計 GWS-3300)

測定方式	TDR法 (タイムドレインリフレクトメトリ法)
プローブ	フレキシブルツインリード
最大測定距離	1~23.5m
測定精度	±5mm (5m未満)、±0.1% (5m以上)
電源	燃料油液位監視装置から供給
機器周囲温度	-40~+85℃ (指示計使用時；-20~+85℃)
防爆規格	本質安全防爆：TIIS (労検TC16579) Ex ia IIC T4 耐圧防爆：TIIS (労検TC17355) Ex d ia IIB T6

設置条件により電波レベル計KRG-10(非接触式)を選択することもできます。



作動状況

1. 下限警報液位(L)で給油ポンプが起動し、上限警報液位(H)で停止します。
2. 異常動作等により上限警報液位(H)で停止しなかった場合は、上上限警報液位(HH)で給油ポンプを停止させ上上限警報を発動します。
3. 異常動作等により下限警報液位(LL)まで達した場合は、下限警報を発動します。